

■評価委員へ申請団体の申請書・事業説明資料等を送付

■評価委員から申請団体の事業計画に関する意見及び事業実施にあたっての改善コメント等を受領

以下、評価委員からのコメント

1. 一般社団法人ふくおか FUN

- ・ 3年目にはアオサの改良・活用法について企業等と連携できる持続可能な事業となることを期待している。
- ・ 博多湾とアオサ発生の因果関係について、事業を通して学ぶとともに、アオサの発生制御方法の可能性も探究してほしい。
- ・ アオサ活用の市場性も検討したうえで、今後の活動を進めてほしい。
- ・ 回収したアオサの実用方法や、具体的な連携に向けてアプローチしたい団体などをしっかりと検討したうえで、今後の活動を進めてほしい。

2. 室見川再生を語る会

- ・ これまでの活動と今後の活動計画について、学校や保育園と連携し続けていることが素晴らしい。
- ・ 大学生を小学生などの指導役として巻き込んでいる活動も評価したい。
- ・ 新型コロナウイルス感染対策の中でも事業が実施できるよう工夫したうえで、今後の活動を進めてほしい。（代替を実施、やり方の工夫など）
- ・ 学習が何かに繋がる、または繋がった具体的な目標があればよいと思う。
- ・ 室見川再生の手法を他の都市河川への応用させる方法や、他の団体との連携についても検討したうえで、今後の活動を進めてほしい。

3. 愛宕の森と緑を守る会

- ・ 1年目の実績もしっかりしており、今後の計画についても愛宕山を良くしていこう、地域の環境を良くしていこうという思いが伝わってくる計画になっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染対策の中でも事業が実施できるよう工夫したうえで、今後の活動を進めてほしい。（代替を実施、やり方の工夫など）
- ・ 固有種の「ツクシヤマザクラ」や「アブラギク」の特徴や生態系での意義も本事業で検討したうえで、今後の活動を進めてほしい。
- ・ 本事業による環境保全効果の「見える化」「評価方法」も検討したうえで、今後の活動を進めてほしい。

4. 水と緑の楽校

- ・一時、大学生などを巻き込んだ活動も実施されていたが、できれば今後も大学生などが、子どもたちと一緒に活動するような企画があればよいと思う。
- ・初期値（今までの実績）が分からないため、参加者数など目標設定されているが、成果が分かりにくいと感じる。
- ・持続可能な協働体の構築に向けた「組織等の構想及び活動スタイル」も今後提案してほしい。

（例：NPO等）

■評価委員による評価

（以下、福岡市情報公開条例第7条第4号により非公開）